

■マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョン（案）（パブリックコメント）に対する意見と県の考え方（対応方針）

No.	意見の項目	意見の内容	県の考え方（県の対応方針）
1	コンセプト	まちづくりのコンセプト（案）として「案①あがりまち」「案②いちゃりば」と示されていますが、国内外から訪れる来訪者の方々が一目で理解しやすいコンセプトが望ましいと考えます。	➡ご意見を踏まえ、今後コンセプトを周知する上では理解しやすさを考慮していきます。
2	軸の考え方	「軸の考え方」に骨格となる拠点や軸が示されていますが、防災や大規模災害時に関する考えが示されていませんが、どのようにお考えでしょうか。	➡防災については、「4. マリンタウンMICEまちづくりビジョンの具体化に向けて」の「4-1. 具体化に向けた基本的な考え方」においてまとめています。詳細については、まちづくりを展開していく中で検討していくこととしています。
3	マリーナの整備方針	与那原マリーナが「M：マリーナ活性化ゾーン」として示されていますが、現在お持ちの案をお示し下さい。	➡現在の検討状況は、まちづくりビジョン（案）で示したとおりです。マリーナの整備については、今後まちづくりを進めていく上で検討していきます。
4	マリーナの整備方針	「M：マリーナ活性化ゾーン」の説明文中に「与那原マリーナの機能を損なうことなく」と有りますが、どのような進め方をするのか現在お持ちの考え方をお示しください。	➡「マリーナ」として使用されている現状の機能を維持したまま、商業施設等の整備を検討していきます。
5	マリーナ機能への影響	与那原マリーナ周辺に宿泊施設「H：宿泊系ゾーン」が計画されていますが、この宿泊施設の建物によるマリーナ機能への影響は配慮されるのでしょうか。	➡宿泊施設については、今後まちづくりを進めていく上で必要に応じて、マリーナ機能を含めた周辺の既存環境に配慮した施設となるよう検討します。
6	まちづくりの戦略（沖縄らしさ）	戦略1に「沖縄らしさを感じられる東海岸地域の顔となる文化と交流の拠点づくり」とあります。沖縄を訪れる動機を創出するためには「沖縄らしさ」から更に訴求力が高く、来沖する必然性を創出する「沖縄ならではのまちづくり」が必要であると考えます。	➡ご意見のとおり、今後まちづくりを進めていく上で「沖縄ならではのまちづくり」を考慮して進めていきます。
7	まちづくりの戦略（定住人口）	戦略2に「周辺住民が将来にわたり住み続けたいと思うような、周辺環境と大型MICE施設が調和した環境づくり」とあります。定住人口が減少しないようなまちづくりを望みます。	➡ご意見のとおり、既存環境に配慮し、定住人口が減少しないようなまちづくりを推進していきます。
8	スケジュール	今後のスケジュールに工程表が示されていますが、凡例がなく、実施場所（ゾーン）に関する情報もありません。詳細な工程表をお示しください。	➡今後進められる大型MICE施設の進捗と併せ、まちづくりに関するスケジュールについても住民説明会を開催しながら、示していきたいと考えています。
9	美しい植栽整備による観光誘致	MICE周辺エリアを美しい樹木でプロムナード化することで、海外県外の観光誘致に貢献できると考える。	➡ご意見のとおり、県としましてもMICE周辺エリアの回遊性向上を図ることが、利便性や魅力あるMICE施設になると考え、グリーンパス等の整備として、緑化を行い、憩い・交流空間の形成を図ることとしています。
10	アミューズメント施設の誘致	テーマパークなどのアミューズメント誘致を積極的に行う必要があると考える。	➡県としてもMICE周辺エリアには、アフターMICEとなる様々な施設が必要だと考えております。今後、ご意見を参考にして、MICE振興に寄与する施設の誘致を検討していきます。
11	ホテル事業者の参入促進対策	MICE周辺には、2000施設程度のホテルが必要である。そこで、ホテル事業者が参入しやすい環境整備として、用地関係費用の縮減や公による積極的な利用が必要であると考えます。	➡県としても宿泊施設の誘致は非常に重要な課題だと考えており、ホテル事業者が参入しやすい環境づくりについて、今後ご意見を参考にして検討していきます。